

高砂市民センター

みちのくきずなよせ
魅知国絆寄席

を開催しました。



日時：平成25年7月7日（日）

開演：午後1時30分

- 主催：公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団
- 共催：公益社団法人落語芸術協会 LLP コムワークプロジェクト
- 後援：公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会
- 助成：文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）



「市民センター魅知国絆寄席」は、地域の方々に本格落語を気軽に楽しんでいただこうと企画した当財団の主催事業です。昨年度から始まり、平成25年度2回目は高砂市民センターで開催しました。

最初に登場したのは、皆さんラジオやテレビでおなじみの川野目亭南天改め六華亭遊花師匠。仙台弁でのトークと落語『試し酒』で皆さん大笑い。つづいて宮城発強烈漫才コンビ ニードルの息のあったトークで会場大爆笑。トリは西麻布生まれの江戸っ子 五代目 三遊亭圓馬師匠の落語『井戸の茶碗』で会場は笑いの渦に包まれ、あっという間の一時間半でした。出演者の直筆サインが当たるお楽しみ抽選会もあり、最後までおおいに盛り上がりました。

当日は、7月上旬とは思えない30℃を越す猛暑にもかかわらず、前売り券を購入していただいた地域の方をはじめ、チラシや口コミで遠方からいらして当日券を求めていただいた方々もあわせて200人以上のご来場をいただきました。

帰り際には皆さん満面の笑顔、そして「本物の落語を近所の市民センターで観ることができて、本当によかった！」「ぜひ、また開催してほしい！」という感想をいただき、あらためて市民センターで開催することの意義を肌で感じました。

